

2025年度

かずさみどりのもり保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月1日（水）～2026年3月31日（火）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月16日（月）
	実施方法	話し合いにより職員全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念の「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」を考慮し、行事活動に取り入れ、子どものやりたい気持ちに寄り添った活動を行うことを心がけた。 ・食育活動として新たに鏡餅作りや鏡開きを取り入れた。
子どもの発達援助	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの発達状況を把握し、個々の発達援を考え援助を行った。 ・子ども一人ひとりの人格を尊重し、子ども主体で接するよう心がけた。 ・クラス担任だけではなく、園全体で子どもの様子を情報共有し、活動することができた。
保護者に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下のボードを活用し、その日の活動の様子やお知らせを伝えることができた。 ・送迎時に言葉を交わし、信頼関係の構築に向けコミュニケーションを重ね、相談や悩みに対し支援を行えるよう配慮した。
保育を支える組織的基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修、社内研修、園内研修を受講し全職員共有することで個々のスキルを上げることができた。 ・全職員 報告・連絡・相談を徹底するよう心がけた。 <p>他園とのクラスMTGで、情報共有や相談をする中でアドバイスをもらい、園内で共有することができた。</p>

総評
<p>今年度も子ども主体の保育になるよう活動の中身を考え行うことができた。毎月のお誕生日会ではお子様のお誕生月に保護者にも参加をいただき、その季節ならではの内容を計画実施し、その中で保護者と共に子どもたちの成長を喜び合う事ができた。</p> <p>食育活動や日本の伝統行事を日々の生活の中にたくさん取り入れ、子どもたちと一緒に楽しみながら食育活動や日本の文化に触れることができた。次年度も子ども主体の保育になるよう心掛け、保護者とのコミュニケーションを大切にしながら個々のニーズに合わせた保育を行っていききたい。</p>